

協定企業名	浅野環境ソリューション株式会社
交流行事名	アサノ Eco～ 木漏れ陽の森 間伐体験
開催日時	平成 28 年 11 月 22 日 (火) 13 : 30～16 : 30
開催場所	「アサノ Eco～ 木漏れ陽の森」(四万十市西土佐岩間 市有林)
主な参加者・人数	浅野環境ソリューション(株)社員の皆さん(9名)、 西土佐村森林組合(5名)、四万十市(4名)、高知県(3名) 計 21名
概要	間伐体験
当日の様子	<p>今年の「アサノ Eco～ 木漏れ陽の森」間伐体験には、総勢9名の浅野環境ソリューション社員の皆さんに参加していただきました。県外からは広島支店の鹿島支店長をはじめ、四国営業所からも参加していただきました。</p> <p>この時期としては気温が高く、手ノコでの作業には少し暑いぐらいの陽気となりました。開会式は、四万十市西土佐にあるクリーンセンター西土佐の会議室で行われました。浅野環境ソリューションが四万十市から管理を受託している施設です。地元自治体の高知県、四万十市からの歓迎のあいさつに続き、浅野環境ソリューション広島支店の鹿島支店長から協働の森づくり事業の意義などについてお話しがありました。高知県幡多林業事務所の職員から間伐についての説明や安全のための注意喚起などを行った後、記念撮影を行いました。</p>   <p>開会式後、6台の車に分乗して、整備された作業道を移動し、40分ほどで間伐現場に到着。社員の皆さんは既に何度か間伐経験があるということでしたので、早速、班ごとに分かれ、西土佐村森林組合の職員の指導のもと手ノコを使った間伐をはじめました。</p> <p>樹齢約55年、直径25～35cmほどのヒノキの間伐作業をすべて手ノコで行うのは大変ですので、今回は、受け口はチェーンソーの力を借りて、追い口を手ノコで入れる作業を、交代しながら行いました。現場は、立派な作業道があり、既に何度か間伐が行われた開けた場所でしたので、かかり木になることは比較的少なく、豪快に倒れる時の音は格別でした。</p>  



木によって伐りやすいものとそうでないものがあり、シカの被害を受けて木の細胞が死んでいるものは伐るのは大変とのことでした。1時間ほどの間に一人1本～3本のヒノキを伐り倒し、協定林の名前のおり木漏れ陽が差し込んでいました。

毎年の間伐作業を通じて、社員同士の絆も更に強まり、地域との交流の輪も広がりました。夜は恒例の懇親会も開催され、伐り倒した本数の倍のお酒を飲むというお約束でした。

浅野環境ソリューションの社員の皆さん、今日一日お疲れさまでした。準備をしてくださった四万十市の職員、西土佐村森林組合の皆様ありがとうございました。

また来年お会いしましょう。